



H30 チャレンジ! グリーン活動

生物保護コース

香川県立香川中央高校

自然科学部(ホタルグループ)

自然科学部は1～3年生の25人で活動しています。大野ホタル保存会、大野コミュニティセンターと協力して、大野地区のホタルを復活させようと活動しています。

目標

大野竹林出水付近にホタルが定着し、大野地区にホタルが自生する環境を整える。今年度の目標は、ホタルの幼虫が生息するのに適した環境を調べ、竹林出水との差を調べる。

指標

ホタルの幼虫が生息するのに適した環境、餌となるカワニナが生息しやすい環境を調べ、竹林出水との差を調べる。

活動の様子

写真左:大野小学校にホタルの生活環境や水質調査の出前授業に行きました。
自然科学部員が先生役になり、年生と一緒にパックテストを用いて水質調査の体験をしました。
ホタルやカワニナはきれいすぎる川でなく、少し汚れた川で生息することう読み取りました。

写真右:水質調査に加えて、ホタルの放流地の流速や、カワニナの密度を調べる調査も行いました。
放流地は、湧水が水源ですが、水量も変動があり、流速が速い時期もあることがわかりました。

H30年12月には、本事業に助成をいただいている中谷財団主催の成果発表会に参加しました。
本校代表生徒がポスター発表を行い、他校の生徒を活発に意見交換しました。

H31年3月3日に育てたホタル幼虫を放流する予定です。



<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>
カワニナの生息しやすい条件に注目して、流速、生息密度、温度環境の調査を行った。
大野小学校の児童アンケート調査や出前授業を通して交流できた。

目標の達成度

生息環境についての調査はまだわからない点も多く、今年度の調査から見えてきた課題、新たな視点もあるため、今後も継続して調査を行っていきたいです。
今後も大野コミュニティセンター、ホタル保存会と協力してホタルの定着をめざします。